

# 第2回中心市街地再構築全体構想町民会議

令和元年8月28日  
株式会社 日本総合研究所

# 1. 全6回の会議内容

- ハードではなくソフト、ものではなくサービス・体験から考えることが重要。
- そのために、本日は「人」と「活動」について意見交換する。
- 次回から具体的な機能（あるいは施設）とサービスについて検討する。

会議	ワークショップの内容	事務局からの情報提供
第一回	弟子屈町をどんな街にしたいか。そのためには中心市街地をどんな場所にしたいか。	—
第二回	どんな人に来て欲しいか。誰がどんな活動をしていると良いか。（Who）	平成30年度庁内検討結果
第三回	その人たちが訪れ、時間を過ごし、活動をするためには、どんな機能やサービスが必要か。（What）	町民アンケート結果、公共施設の現状
第四回	機能やサービスのイメージを具体化。そのサービスを整備すると無くなるものはあるか。（What）	第三回で挙げられた機能の事例紹介
第五回	その機能・サービスを整備・運営していくための課題は何か。（How）	事業実現のための課題整理と解決策の案
第六回	まとめ	

## 2. 第一回町民会議のふりかえり①

- 第一回会議では、弟子屈町をステキな街にするために、①どんな街にしたいか、②そんな街にするためには中心市街地をどんな場所にしたらいいかを考えました。

### 弟子屈町をステキな街にするには？

#### ワークショップ1

弟子屈町を（ ）街にしたい！

- **温泉のまち**  
「みんな親切、ほのぼの温泉」／「人々が憩える温泉の町」
- **自然豊かなまち**  
「森の中のオアシスのような」／「自然を大切にする」／「世界の中でトップクラスのサステナブルな取組を行い、先進的な田舎町」
- **未来に希望が持てる、誇りに思えるまち**  
「子供が希望を持てる」／「未来が見える」／「誇りに思える」／「子供たちが戻って着たいと思える」／「東北北海道の中心の」／「未永く住んでいられる」／「心豊かに暮らせる」／「ステキといえる」
- **世代を超えて交流できる、笑顔あふれるまち**  
「家族が楽しくできる」／「子供から大人まで生活しやすい」／「世代を越えた交流ができる」／「子供の笑顔が集まる、見られる」／「みんな仲良く住んで楽しい」／「住んで幸せな」／「笑顔のある」／「笑顔あふれる」

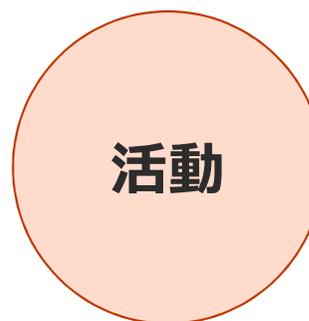
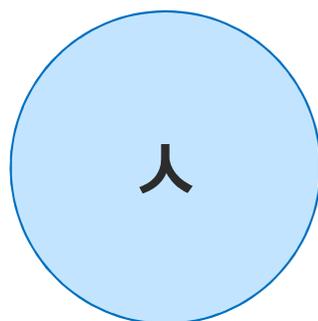
#### ワークショップ2

そんな街にするには中心市街地は（ ）場所にしたい！

- **温泉のまち**  
「くつろぎのある」／「温泉入浴施設を中心とした」／「複合施設（温泉・プール・トレーニング）」
- **自然豊かなまち**  
「自然環境にローインパクトな物を使う」
- **未来に希望が持てる、誇りに思えるまち**  
「ステキのきっかけがある」／「楽しい・美味しい・稼げる」／「廃屋のない」／「この街の独自性のある文化の」／「人が集い、街の事に一人ひとりが関心を持ち、活動出来る」／「未来への負担にならない（お金がかかる等）」
- **世代を超えて交流できる、笑顔あふれるまち**  
「町民が自由に出入りできる」／「いろいろな世代が集う」／「住民のための一家団欒の」／「世代ごとに活用できる機能がある」／「子供たちが楽しみやすく、家族がくつろげる」／「すごく楽しい」／「緩やかな支え合いの拠点」／「街に訪れた観光客や旅人と町民が交流できる」

### 3. 本日の第二回町民会議について

- 各机でグループに分かれていただき、中心市街地や宮林署跡地に「どんな人に来て欲しいか」「そこでどんな活動をしていると良いか」を議論いただく。
- 「人」と「活動」によって、目指す将来像を整理することが一つ目の目標。
- 多種多様な意見が出ると思われるが、その中で優先順位がつけられるかどうか、を整理するのが二つ目の目標。



どんな人に来てもらいたいか  
 どんな人が集まる・訪れると良いか

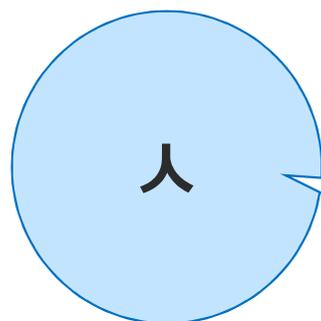


そこでどんな活動をしていると良いか  
 どんな体験・経験ができると良いか

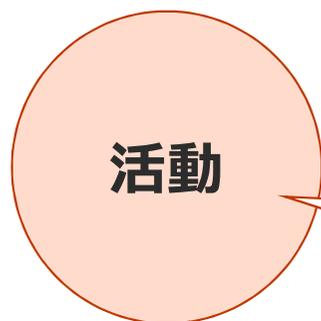


## 4. 「人」と「活動」について

- 様々な視点から「人」と「活動」を議論いただきたい。



こども／若年層／中年層／アクティブシニア／高齢者  
男性／女性  
町民／町外から／道外から／外国人  
Uターン／Iターン  
ベンチャー企業／大手企業／外資系企業 等



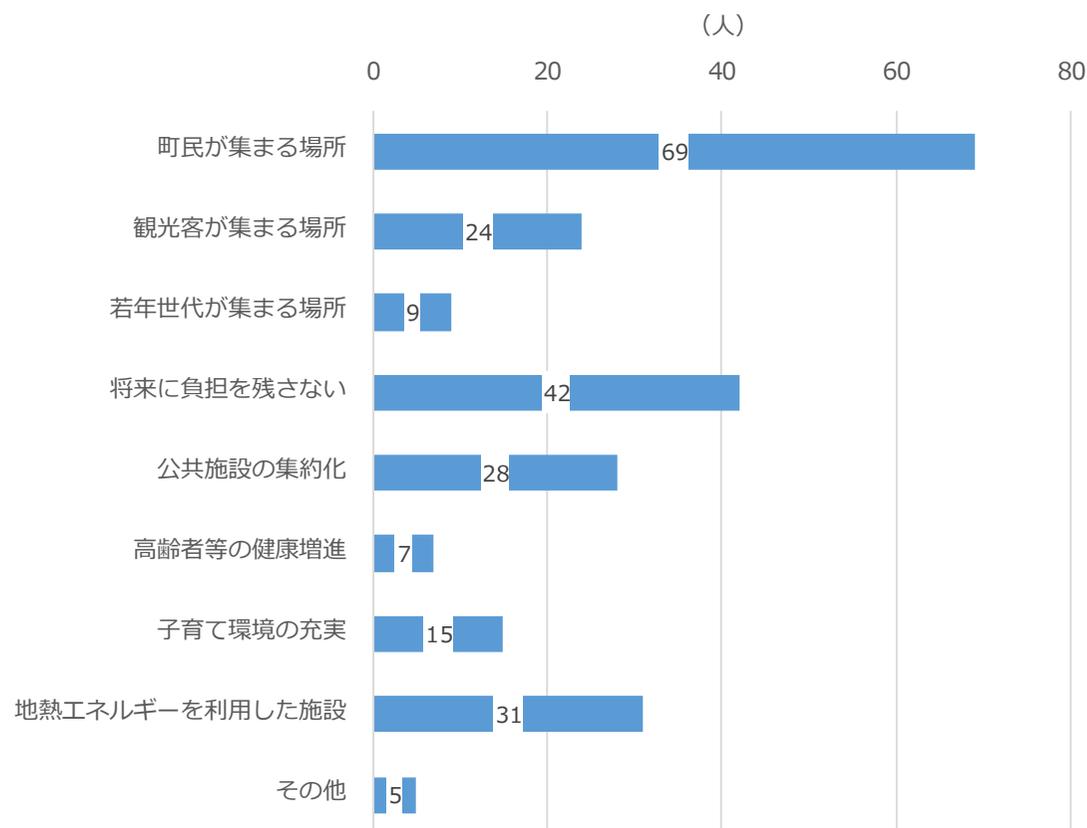
遊ぶ／食べる／憩う／知る／発信する／休む／癒される／働く  
※より具体的な活動のイメージを膨らませていただいても結構です。

## 5. 町民向けアンケート結果 最も重要であると考えた視点

- 回答者が最も優先順位が高いと答えた視点は下記の通り。「町民が集まる場所」を選んだ人が最も多い。
- 「将来に負担を残さない」「公共施設の集約化」など財政負担をかけないことを重視する人も多い。「地熱エネルギーを生かした施設」「観光客が集まる施設」も多く選択された。

【問2】営林署跡地はどういった視点を優先して公共施設等を整備するのが良いと思いますか？（あてはまるアルファベットを○で囲み、優先順位が高いと思われる順番に（ ）に1からの順番を書いてください。（複数回答可）

最も優先順位が高いと考えた視点（n=257）



## 6. ワークショップの進め方

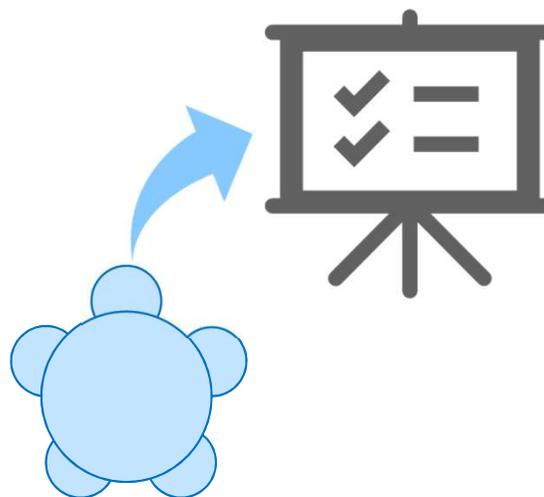
- 話し合い：机ごとに話し合いをしてください。まず各机のスタッフと協力して話し合いの結果をホワイトボードにまとめてください。（10分×2回）
- 発表：結果を発表してください。（5分発表、質疑2分）

**テーマ1：どんな人に来て欲しいか。誰がどんな活動をしていると良いか。**  
**テーマ2：その中で優先順位はつけられるか。**

①机に用意してある用紙に、各自ご記入ください。何枚でも結構です。

どんな人に来てほしいか	
どんな活動をしてほしいか	

②記入した内容について話し合い、各机のスタッフと共にホワイトボードにまとめてください。



### 【重要な留意点】

- 各机で、**全員共通の意見、結論とする必要はありません。**
- 異なる意見があったとしても「否定」しないでください。**
- 共通意見は何で、異なる意見は何だったのかが分かればよいです。**